

ツアー番号
LKF6GFKARQ

文化の中を歩く（8日間）

8日間・7泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この8日間のツアーは文化三角地帯から南海岸まで運行され、専属のシャフェール兼ガイドが終始ドライブします。ダンブッラとシギリヤでオープンし、キャンディと中央丘陵地帯のヌワラエリヤとエラの周辺を通過し、ミンネリヤとウダワラウェの野生動物公園を経由して、ガッレとヒッカドゥワの海岸沿いで終了してからコロンボに戻ります。

旅行者は内陸の主要な歴史的遺跡を見学します。ダンブッラの洞窟寺院、シギリヤの岩の砦、キャンディの歯の寺院です。ヌワラエリヤ周辺の茶畑の丘陵地帯の景色や、エラ近くのウォーキングトレイルと共に楽しめます。ミンネリヤとウダワラウェでの2つのサファリと、ヒリワドゥナでの村の体験により、農村生活と野生動物との接触が可能です。ガッレとヒッカドゥワの海岸での最後の数日間には、植民地時代の建築、川のボート旅行、ウミガメ孵化場が含まれます。

このイタリナリーはLakpura®によって個別に運行されており、固定グループツアーではありません。観光は継続的なロートの周りにアレンジされており、固定スケジュールではなく、各日の訪問の順序とペースはここに示されたルートに従います。



日程詳細

1日目 空港 → ダンブッラ

コロンボ国際空港に到着後、専属ドライバーガイドがお出迎えし、ダンブッラへご案内します。その日の夕方には石窟寺院を訪れます。



ダンブッラ石窟寺院

ダンブッラの黄金寺院は紀元前1世紀にまで遡り、ゴータマ・ブッダの生涯を描いた古代壁画や、5つの主要な洞窟に点在する数百体の仏像・神像を有しています。これらの洞窟には「神聖なる王の洞窟」「大王の洞窟」「大新僧院」などがあります。石窟群から少し離れた場所には、巨大な黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5



ピンナワラ象の孤児院

サバラガムワ州にあるピンナワラ象の孤児院は、生息地を失ったり迷子になったりした子象たちを保護する施設で、現在約70頭を飼育しており、世界最大の飼育象の群れとなっています。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

2日目 ダンブッラ → シギリヤ → ミンネリヤ → ダンブッラ

シギリヤ・ロック要塞の見学、ヒリワドゥナでの村体験、ミンネリヤ国立公園でのサファリを満喫し、ダンブッラへ戻る終日観光です。



シギリヤ・ロック要塞

この5世紀に建てられた岩の要塞は、カーシャパ王の居城でした。入口には巨大なライオンの両前足を模した階段があり、これがシギリヤ(獅子の岩)の名の由来となっています。登る途中には有名なフレスコ画、段々状の庭園、今も機能している貯水池やトンネルがあり、頂上には宮殿の遺跡が残っています。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

ヒリワドゥナ村ツアー

ヒリワドゥナは伝統的な生活様式を守り続ける村で、牛車や静かな湖をカタマランで渡って訪れます。水田を歩き、料理のデモンストレーションを見学した後、蓮の葉に盛られた手作りの昼食を楽しみます。



ミンネリヤ国立公園サファリ

ジープでミンネリヤ国立公園を巡るサファリです。5月から10月にかけて150頭を超える象が集まる「大象の集会」で知られ、そのほかにも多様な哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類が低木地や森林に生息しています。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

3日目 ダンブッラ → キャンディ

キャンディへの道中、マータレーのスパイスガーデンに立ち寄ります。キャンディでは工芸品めぐり、寺院参拝、文化舞踊ショーの夕べをお楽しみいただきます。



マータレーのスパイスガーデン

スリランカのスパイスの都として知られるマータレー近郊のスパイス・薬草園をガイドとともに巡ります。コリアンダー、チリ、シナモン、カルダモン、ナツメグなどのスパイスの栽培方法や用途、アーユルヴェーダでの活用法について学びます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

宝石・木彫り・バティック工房めぐり

キャンディの工房を訪れ、宝石カッティング、木彫り、バティック(ろうけつ染め)といった伝統工芸をご覧いただきます。



仏歯寺(スリ・ダラダ・マーリガーワ)

このユネスコ世界遺産は16世紀に建立され、仏陀の聖なる歯の遺物を納め守るために建てられました。赤、クリーム色、黒で彩色された堂内や彫刻入りの柱、黄金の仏像などが、島内で最も崇敬される聖地の一つとしての存在感を醸し出しています。

A.Savin · FAL



キャンディアン文化舞踊ショー

伝統的なキャンディアン舞踊と音楽による1時間のショーで、火の踊り、剣の踊り、太鼓演奏などが披露されます。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

4日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

ペラデニヤから列車に乗り、高原地帯へと旅を続けます。ヌワラエリヤでは市内観光と茶工場見学をお楽しみいただきます。

キャンディ発ヌワラエリヤ行き鉄道の旅

ペラデニヤからナヌオヤまでの列車は高原の田園地帯を走り、茶畑や霧に包まれた山々を背景にした村々を通り過ぎていきます。



ヌワラエリヤ市内観光

ヌワラエリヤは茶の産地の中心に位置し、イギリス統治時代に英国の田舎町を思わせる様式で建設されました。ジョージ王朝様式からクイーン・アン様式までさまざまな住宅、英国国教会の教会、ゴルフ場、手入れの行き届いた公園が、涼しく高地の気候の中に広がっています。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

マックウッズ茶園

マックウッズ茶園と工場をガイドとともに巡り、セイロン茶の品種、製法、品質について学びます。セイロン茶は1824年に中国から茶が持ち込まれたことに始まり、1852年以降ジェームズ・テイラーによって商業的に発展しました。

5日目 ヌワラエリヤ → エラ → ウダワラウェ

ヌワラエリヤからヒンドゥー教寺院に立ち寄り、エラのトレッキングコースを巡った後、ウダワラウェへと向かいます。

シータ・アンマン寺院

この寺院はシータ・エリヤ村に建っており、伝説ではラーマーヤナにおいて魔王ラーヴァナがシータを捕らえた場所とされています。この地では3体の古代の神像が発見されました。

エラ観光

エラの散策では、茶畑やリトル・アダムスピークを望む岩山を眺め、ナインアーチ鉄橋を渡り、独特のループ線で知られるデモダラ駅に至ります。

6日目 ウダワラウェ → ガッレ → ヒッカドゥワ

午前中はウダワラウェ国立公園でサファリを楽しみ、その後は海岸へ向かう途中で古都ガッレに立ち寄ります。



ウダワラウェ国立公園サファリ

1970年代に野生動物保護区として設立されたウダワラウェ国立公園をジープで巡るサファリです。水鳥やスリランカ象で知られる湿地、森林、草原が広がり、その他にも多様な哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、蝶が生息しています。

AntanO · CC BY-SA 4.0

ガッレの旧市街(植民地時代の街並み)

ガッレはかつてポルトガルとオランダの統治拠点であり、その要塞はアジアでも最も保存状態の良い要塞の一つです。旧市街には博物館や灯台、オランダ語の名が残る石畳の通りがあります。

7日目 ヒッカドゥワ

ビーチでのんびり過ごす一日で、午後にはマドゥ川でのボートツアーとウミガメ保護センターの見学をお楽しみいただきます。



マドゥ川ボートサファリ

マドゥ川の生態系を巡るボートツアーでは、マングローブの水路を進み、日光浴するワニやオオトカゲを眺め、シナモン収穫者が暮らす小さな島に立ち寄ります。希望者はフィッシュマッサージを体験でき、水鳥の姿も見られます。

SUPindia · CC BY-SA 4.0



コスゴダ・ウミガメ保護センター

南西海岸にあるこの保護センターは、産卵のために上陸する絶滅危惧種のウミガメ5種の巣を保護する活動を行っており、「コスゴダ・タートル・ケア・プログラム」を通じて幼体や負傷した成体の保護にも取り組んでいます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

8日目 ヒッカドゥワ → コロンボ → 空港

最終日はコロンボへ移動し、市内観光を行った後、空港へ送迎し出発となります。



コロンボ市内観光

コロンボ観光では、旧灯台、旧国会議事堂、ゴール・フェイス・ホテル、ゴール・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館などの名所を巡るほか、独立記念広場周辺やレースコース地区のショップも訪れます。

Gihanud2001 · CC0

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Entry Visa Fees.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees/Train Tickets.
- Meals (Breakfast, Lunch & Dinner)
- Hotel Accommodation